

「腸内デザイン応援プロジェクト」2019年度の参画企業が決定！

株式会社メタジェン（本社：山形県鶴岡市、代表取締役社長 CEO 福田真嗣）は、最先端科学に基づく独自の腸内環境評価技術「メタボロゲノミクス®」を駆使して、腸内環境を適切にデザインすることで健康維持・疾患予防に役立て、「病気ゼロ社会」の実現を目指すリーディングカンパニーです。

当社では2016年に、科学的根拠に基づいて腸内から人々の健康を考え、社会に貢献することを目指すコンソーシアム「腸内デザイン応援プロジェクト」を発足しました。このコンセプトに賛同いただき、共に「腸内デザイン」を推進するパートナー企業を「腸内デザイン応援企業」と位置づけていますが、この度、2019年度の参画企業が決定いたしましたので、お知らせいたします。

腸内デザイン応援プロジェクト 参画企業のご紹介

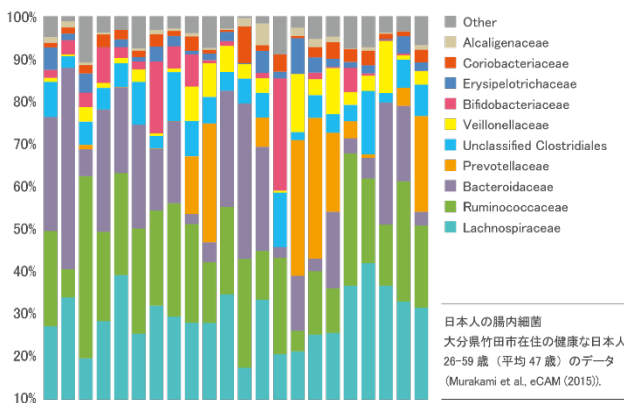
(五十音・アルファベット順)

 アジレント・テクノロジー株式会社	 江崎グリコ株式会社	 キューサイ株式会社	 協和発酵バイオ株式会社	 株式会社サン・クロレラ	 住友化学株式会社
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社	 株式会社ダイセル	 帝人株式会社	 日本ユニシス株式会社	 株式会社はくばく	 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
 扶桑化学工業株式会社	 物産フードサイエンス株式会社	 株式会社ブルボン	 株式会社明治フードマテリア	 森下仁丹株式会社	 森永乳業株式会社
 ユニ・チャーム株式会社	 ライオン株式会社	 ロート製薬株式会社	 CPCC 株式会社		

2016年4月に発足した「腸内デザイン応援プロジェクト」は医療やヘルスケアにとどまらず、様々な業種の企業からその活動に賛同が寄せられ、これまでの活動の中で10件以上の共同研究開発事業を創出してまいりました。また、活動を通じ「腸内デザインによる層別化医療・ヘルスケア」を実現するための新たな知見が次々と生まれつつあります。4年目となる本年度は、得られた知見を社会に実装しコンソーシアムの目的を具現化していく時です。新たな価値としての「腸内デザイン」を社会に提案するため、参画企業とこれまで以上に連携をすすめてまいります。

腸内環境タイプに合わせた層別化ヘルスケア「腸内デザイン」

近年、腸内環境改善に向けた様々な食品やサプリメント、サービスが注目されています。しかしながら、腸内環境は個人ごとに異なるため、万人が単一の商品によって期待する効果を得るのは難しいと考えられます。医薬品についても同様で、腸内環境の違いによって薬効に差異があることも報告されています。このような背景を踏まえると、個々人によって異なる腸内環境を適切に分類し、それぞれの腸内環境のタイプに合わせたアプローチを行うことで健康維持・疾患予防を目指していく層別化ヘルスケアが必要です。これを私たちは「腸内デザイン」と呼んでいます。今後の食品やサプリメント、医薬品などの開発は、この腸内デザインのコンセプトに基く戦略が求められると私たちは考えています。



腸内細菌叢は人によってタイプが異なる



腸内デザイン応援プロジェクトの発足

メタジェンでは、「腸内デザイン」のコンセプトに賛同いただいた企業や研究者がそれぞれの独自のノウハウを持って集結するコンソーシアム「腸内デザイン応援プロジェクト」を発足しました。このプロジェクトでは、腸内環境に関する最新情報の共有をはじめ、当社の共同研究開発プラットフォームを活用した共同研究開発事業や新規事業の産出を行うことで、層別化ヘルスケア・層別化医療の実現を目指しています。

貴社の製品・ナレッジ



腸内デザイン応援プロジェクト

メタボロゲノミクス®を駆使した
研究開発プラットフォーム

- 特別セミナーで腸内環境研究の最先端情報を共有
- 腸内環境からみる製品の機能性評価と分子メカニズムの解明
- 腸内環境のタイプに応じた商品開発、ソリューションの探索・提案
- 腸内環境評価を取り入れた新事業の提案

